

ICT BUSINESS PLAN CONTEST

北海道起業家甲子園 2025 のご案内

...

総務省北海道総合通信局
情報通信連携推進課

【事務局】

北海道総合通信局情報通信連携推進課（担当: 奥野・北島・古屋）

✉ hok-startup@soumu.go.jp ☎ 011-709-2311（内線4764）

北海道起業家甲子園

地方大会

学生の柔軟なアイデアで気軽に 参加できるビジネスプランコンテスト

「北海道起業家甲子園」は、北海道におけるICTスタートアップの担い手となり得る人材発掘を目的とした学生対象のビジネスプランコンテストです。

本コンテストの最優秀チームには、東京で開催される全国規模のピッチコンテストへの参加機会を提供し、北海道からの新たなイノベーション創出を支援します。



北海道起業家甲子園

全国大会

学生のビジネスアイデアが 北海道から全国、そして世界へ

全国各地から選抜された学生が一堂に会し、ブラッシュアップしたビジネスプランを披露するDEMO DAYとして、総務省とNICTの共催により、3月に東京で「起業家甲子園」(全国大会)を開催します。

また、全国大会出場チームの代表者は、米国シリコンバレー起業家育成プログラム（シリコンバレーブートキャンプ）に参加いただけます。（※R6年度は、全国から9名の学生（高専生3名、専門学校生1名、大学生3名、大学院生2名）が参加）



開催概要

北海道起業家甲子園2025

日時：令和7年**11月29日**（土）13:00～17:00 / ミートアップ17:00～18:00

会場：**HOTnet共創空間Akallabo**（札幌市中央区北2条西4丁目 札幌三井JPビルディング14F）

及び **オンライン配信**

主催：総務省北海道総合通信局、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、
一般社団法人北海道マルチテック・クリエイティブ協議会（HMCC）、北海道テレコム懇談会

特別協力：北海道総合通信網株式会社（HOTnet）、株式会社ジェイコム札幌、
STARTUP HOKKAIDO 実行委員会、一般社団法人Ezofrogs、NoMaps実行委員会

協賛（予定）：AWL株式会社、株式会社インフィニットループ、株式会社インプル、
株式会社内田洋行北海道支店、株式会社NTTドコモ北海道支社、
NTT東日本株式会社、さくらインターネット株式会社、株式会社ジェイコム札幌、
株式会社jig.jp、株式会社メディア・マジック

後援（予定）：北海道、札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会、
北海道経済連合会、北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(HSFC)

対象：道内の中学生から大学院生等の学生（個人）や学生で構成されるチーム（※原則30歳未満）



地方大会に向けて 成長をサポート

スタートアップサロン

エントリーシートによる1次審査通過チームを対象に
11/8（土）13:00-16:30
札幌市内・オンラインで開催します。

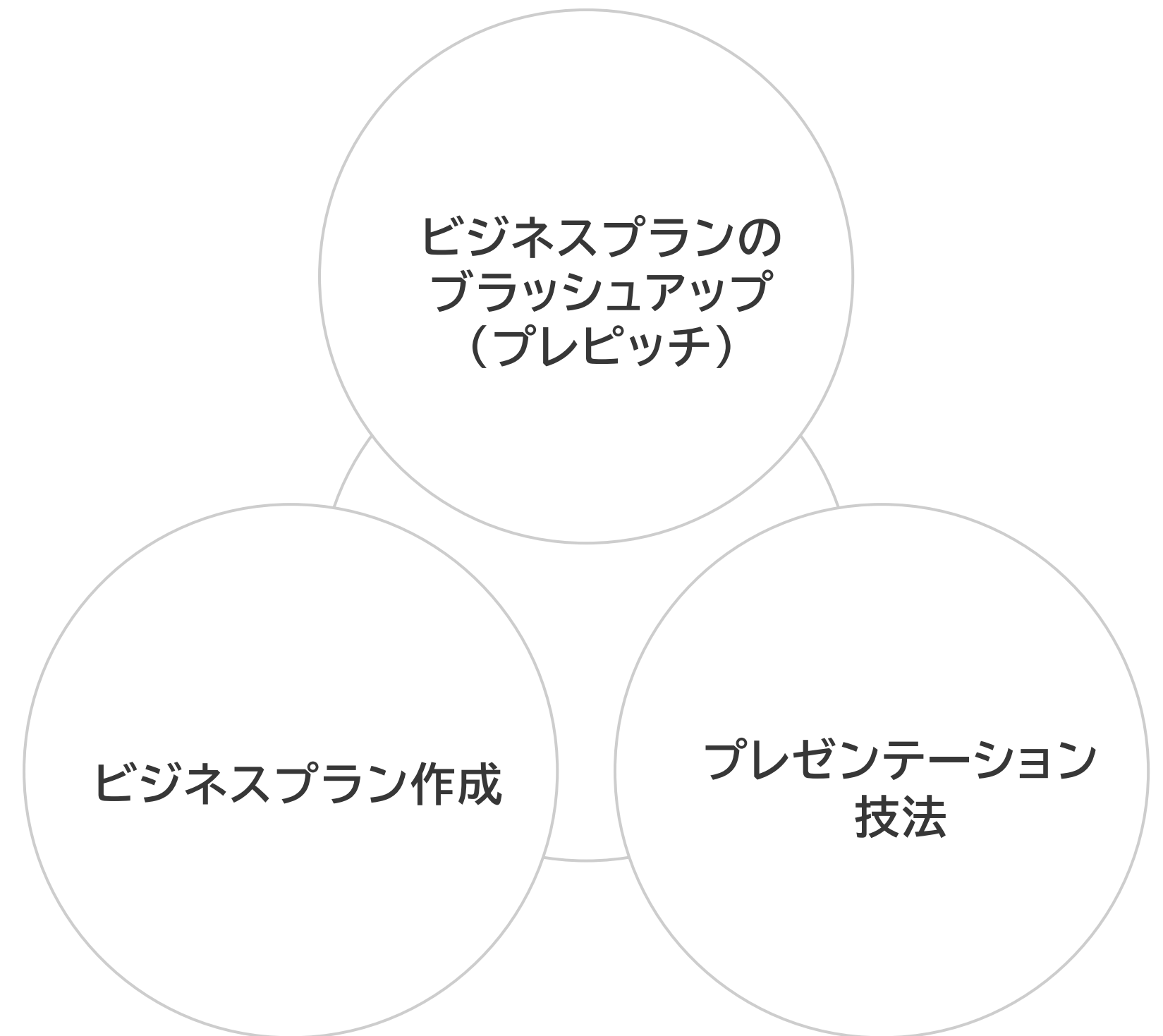
経験豊富なICTメンターからのアドバイス等により、
ビジネスプランをブラッシュアップし、大会本番に向けて、
参加者の成長をサポートします。



STARTUP HOKKAIDO実行委員会
事務局長 藤間 恭平 氏



株式会社D2Garage
マネージャー 豊田 睦雄 氏



参加の流れ

★ 全国大会出場チームの代表者は
シリコンバレーブートキャンプに参加



01



エントリー

エントリーシートにより
ビジネスプランを応募
(8/下旬～9/末)

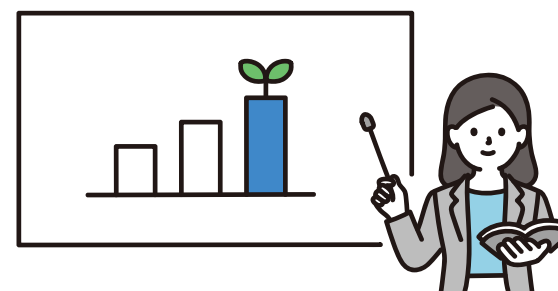
02



1次審査

応募者が多数の場合
エントリーシートによる
1次審査

03



スタートアップサロン

ICTメンターによるアドバイスを
受け、プランをブラッシュ
アップするイベントに参加
(1次審査通過者 対象)

11/8 (土)

1ヶ月

04



北海道大会

ブラッシュアップしたプランで
地方大会に出場
(ピッチコンテスト)

11/29 (土)

3週間

05



全国大会

地方代表として
ブラッシュアップされた
ビジネスプランで
全国大会に挑戦

3月10日 (火)

3ヶ月

審査基準

【大前提】

ICTを利活用した自分のアイデアを形にして世の中に広めていきたい、自分の技術を活用して世の中に広めていきたいという意欲がある。

【基本的選抜ポイント】

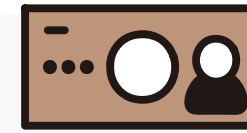
- ① 経営（代表）者が人として魅力的か、意志力・伸びしろはあるか
- ② 魅力的な事業領域か
（市場の規模は大きいのか、成長が期待できるか、将来的にグローバルにスケールできる見込みがあるか）
- ③ 勝てる戦略か
（独自技術・アイデアがあるか、事業計画に実現可能性があるか）
- ④ 地域の「特色」「課題」「シーズ（ディープテック領域等）」のいずれかを活用したビジネスか





① 担当ICTメンターによる ブラッシュアップ

プロフェッショナルな観点から
ICTスタートアップをサポートし事業化を促進



② 資金調達の機会の提供 知名度向上

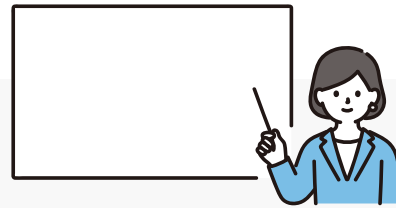
全国大会では、審査員に著名なベンチャーキャピタリスト（V C）
を招き、「最も投資をしたい」という評価を得たチームに対し、
総務大臣賞を授与



③ 全国大会出場者を対象に シリコンバレー ブートキャンプ

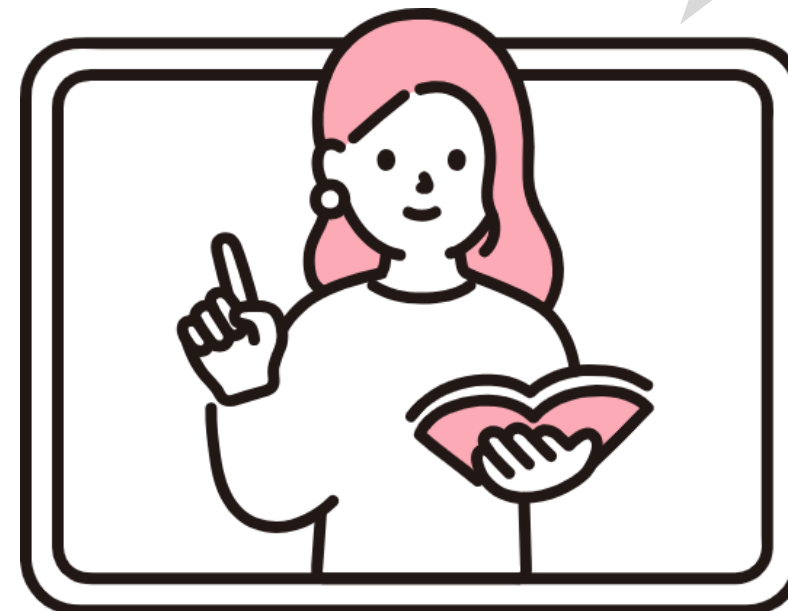
グローバルマインドを身につける機会を提供するため、
「シリコンバレーブートキャンプ」を実施

参加メリット



④ 大規模展示会への 出展機会の提供

CEATEC（日本）、イノベーションリーダーズサミット
（日本）等、国内外での展示機会を提供



⑤ パートナー企業との マッチング機会提供

協賛企業からの企業特別賞（役員等との
食事会におけるビジネスマッチング機会の
提供等）の授与により、マッチングの機会を提供



北海道起業家甲子園 近年の「最優秀賞（NICT賞）」 受賞一覧

年	学校名	チーム名	受賞概要	出場数
2019年	北海道科学大学	ラジオワッチ	盗聴電波の検出及び無線機器の特定サービス	9
2020年	旭川工業高等専門学校	北国のヒグマ軍団	ICT・IoTフュージョンによる農業支援サービス	11
2021年	北海道岩見沢農業高校	開発土木専攻班	産業間連携 土木で作成した測量データを農業へ展開	9
2022年	北海道大学大学院	Human Scan	医療診断装置への応用を目指した TlBr(臭化タリウム)放射線センサ	9
2023年	北海道科学大学	おむすび	初めて子どもをむかえる夫婦向け スマホアプリ「はぐくみ」	12 (13チームがエントリー)
	旭川工業高等専門学校	北国のコウヤ同盟	除雪業務作業報告のデジタル化・除雪時の道路境界の表示等 ができるシステム「除雪でいーX」	
2024年	北海道情報専門学校	Ibis	骨格検知AIや生成AIを用いて利用者のフォームをチェックし、 最適なアドバイスを提供する「AIフォームトレーナー」	12 (24チームがエントリー)

※黄色マーカー:全国大会で最優秀賞である総務大臣賞を受賞